

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(2月9日～2月15日)

2019年2月19日
在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- 2018年通年の貿易収支・サービス収支:前年比14.1%増(2/12)
- ロシアからベラルーシへの石油及び石油製品輸入量が減少傾向(2/13)
- ルカシェンコ大統領とプーチン露大統領との首脳会談(2/13～15)

内政・外交

【ルカシェンコ大統領動静】

●プーチン露大統領との首脳会談(ロシア, ソチ)

2月13日から15日にかけて、ルカシェンコ大統領はロシアを実務訪問し、プーチン露大統領との首脳会談を13日と15日の2回実施。

ルカシェンコ大統領発言要旨

ロシアからの経済的支援に感謝。ベラルーシはロシア経済の最終製品の産地であり、ロシアから原材料や機械製造や原油加工のための必要物資の60-70%を購入している。ロシアはベラルーシ経済を支えることを通じて、ベラルーシに財を輸出する企業に勤める3,500-4,000万人の(ロシアの)人々をも支えている。

税操作という言葉がこの3日間口にしなかった。この問題にいずれ取り組むが、両国間にはこれ以外の問題も多くある。

主権は神聖なもの。両国間に主権の問題はない。両国首脳には統合を進める用意があるが、それはベラルーシ・ロシア両国民がどの程度その用意ができているか次第。

プーチン大統領発言要旨

国際関係・地域情勢における両国の協力は重要。ベラルーシは露にとって戦略的パートナーであり同盟国。旧ソ連圏の統合を含む問題でルカシェンコ大統領と方針を摺り合わせることは自分にとって重要。

イラン・トルコ両国大統領との非公式会談

14日、ルカシェンコ大統領は、プーチン露大統領、ローハニ・イラン大統領、エルドアン・トルコ大統領の会

談に同席し、シリア問題を含む国際問題につき意見交換。

(2月13日～15日付大統領公式サイト, 国営ベルタ通信)

●高官人事(2/12)

ルカシェンコ大統領は、スヴィリドフ大統領官房次長をはじめ、大統領補佐官、各国大使、地方自治体首長らの人事を承認。イエシン駐日大使は今後オーストラリアとニュージーランドも兼轄。

大統領はチュシエフ駐ポーランド大使に対する訓示において、ポーランド人はベラルーシ人にとってよそ者ではなく、両国間には相互理解がある旨述べた上で、「ポーランドがベラルーシからの脅威を想定するには及ばない。しかし、ポーランドが武力を誇示してくるなら、ベラルーシはロシアとともにポーランド方面への共同防衛体制を取っていることも踏まえ、それを静観することはない」と強調。

(2月12日付大統領公式サイト, 国営ベルタ通信)

【内政】

●ゾロトヴァ TUT.BY 編集長に対する公判

2月12日、インターネットニュースサイトTUT.BYのゾロトヴァ編集長に対する公判が開始。同編集長は、国営ベルタ通信の情報に不正アクセスした廉で刑事訴追されていた14人のジャーナリストの最後の1人。

公判前日の11日、ドール欧州人明党党首は、同党として同編集長を支持する旨の声明を発売。

14日、デジタル欧州安全保障協力機構(OSCE)報道

の自由担当代表は、本件を注視しており、ゾロトヴァ編集長に対する容疑が取り下げられることを希望する旨ツイート。

(2月11日、12日、14日付ペラパン通信)

【外交】

●**グロゾフ露 CIS 常任代表の発言：ウクライナは公的には依然として CIS 加盟国である。**

2月11日の記者ブリーフの席上の発言。ウクライナは CIS 執行委員会に対して正式な脱退決定通知を行っていないと指摘。引き続き加盟国の地位を維持するか否かはウクライナ当局の専権事項であると付言。

(2月11日付ペラパン通信)

●**ロシア TV 局 RT によるパービチ駐ベラルーシ露大使インタビュー**

パービチ大使は要旨以下のとおり発言、

・ベラルーシにおける穏やかなベラルーシ化と脱ロシア化の間には明確な境界線がある。

・自国の言語・歴史・文化・伝統を学ぶことは国民の権利どころか、自国のアイデンティティを失いたくないと思う全ての国民の義務ですらある。ベラルーシがこうした面で発展していくことは何も悪いことではない。

・ただしそれは、ベラルーシにおけるロシア語話者の権利や共通の文化・共通の歴史的事実を害する形を採ってはならず、歴史の歪曲となるものであってはならない。

(2月10日付ペラパン通信)

●**ミヤスニコヴィチ上院議長のポーランド訪問 (2/11-14)**

ドゥダ大統領、モラヴェツキー首相、チャプトヴィチ外務大臣らと会談。首相との会談では一帯一路関連のプロジェクトについて協議。

(2月12日及び14日付ペラパン通信、14日付国営ベルタ通信ほか)

経済

【国内経済】

●**農業食糧大臣：健全経営は農業企業の3割のみ**

ザヤツ農業食糧大臣は、2月14日付「農業新聞」紙上のインタビューにおいて、全国の農業企業のうち、健全経営なのは僅か30%のみである旨指摘。

(2月14日付ペラパン通信)

【対外経済】

●**欧州連合(EU)は、ベラルーシを含む東方パートナーシップ諸国の交通インフラの近代化に総額128億ユーロを拠出。**

ベラルーシでは、ゴメリ州ジロビンから同州カリコヴィチを結ぶ鉄道の電化に資金が提供される。

(2月15日付プライムプレス通信)

【統計・その他】

●**ベラルーシはロシアにとって第4の貿易相手国**

2月6日、ロシア連邦税関庁は2018年の国別貿易高を発表。首位は中国で1,083億ドル、2位はドイツで596億ドル、3位はオランダで472億ドル。ベラルーシは356億8,620万ドル(前年比10.8%増)で4位。

(2月6日付国営ベルタ通信)

●**2018年の農産品・食料品輸出：前年比5.3%増**

2月7日、ボグダノフ農業食糧省対外経済活動総局長は記者会見で、2018年の農産品・食料品輸出を52億3,500万ドル(前年比5.3%増)と発表。

輸出先は95か国で、対露輸出の割合は79%(前年比6.3%減)。旧ソ連圏外諸国への輸出は前年比66.7%増。アジア・大洋州諸国への輸出は1億5,140万ドル(前年比2.2倍)で、中国は優先取組国で、2018年には8,240万ドルを輸出(前年比4.4倍)。アフリカ諸国向けは870万ドル(前年比5倍)。米大陸向けが910万ドル(前年比48%増)で、米国向けが前年比21%、ベネズエラ向けが前年比10倍にそれぞれ増加。欧州連合(EU)諸国向けは2億3,350万ドル(前年比66.6%増)

(2月7日付国営ベルタ通信)

●**2018年通年の貿易収支・サービス収支に関する中央銀行統計**

・貿易収支・サービス収支合計

総額は前年比 14.1%増の 832 億 4,600 万 USD。

収支は 6 億 9,440 万 USD の黒字(前年は 8,290 万 USD の黒字)。

輸出は前年比 14.9%増の 419 億 7,020 万 USD, 輸入は同 13.3%増の 412 億 7,580 万 USD。

・サービス貿易

総額は前年比 11.7%増の 140 億 9,590 万 USD。

収支は 33 億 4,570 万 USD の黒字(前年は 30 億 6,180 万 USD の黒字)。

輸出は前年比 11.2%増の 87 億 2,080 万 USD, 輸入は同 12.5%増の 53 億 7,510 万 USD。

(2 月 12 日付ペラパン通信)

●露からの石油及び石油製品輸入量が減少傾向

中央銀行の統計によると、2018 年 11 月以降、ロシアからベラルーシへの石油・石油製品輸出が激減。同年上半期は毎月 30-40 万トンを入力していたのに対して、同年 6 月は 23.7 万トン、7 月は 14.19 万トン、9 月は 10.6 万トン、10 月は 11.55 万トン、11 月は 2.43 万トンまで落ち込んだ。

両国副首相が署名した、石油・石油製品の貿易経済協力の調整手法に係る協定の変更に関する議定書によると、2018 年 11 月以降、ベラルーシがロシアから輸入できる石油・石油製品は、国内市場で生産されていないものに限られることとなった。

(2 月 13 日付ペラパン通信)

●中央銀行統計:2018 年通年のベラルーシの外貨獲得額は前年比 14.8%増の 415 億 USD

モノ及びサービスの輸出拡大が貢献。

(2 月 13 日付ペラパン通信)

●2018 年の外国からの投資額:108 億ドル

主な出資国はロシア(38.3%)、英国(25.7%)、キプロス(7.8%)。外国からベラルーシの直接投資額は総額の 78.7%にあたる 85 億ドル。

2018 年のベラルーシから外国への投資額は総額 61 億ドル。主な投資先はロシア(68.2%)、ウクライナ

(16.5%)、英国(6.7%)。ベラルーシから外国への直接投資額は総額の 93.5%にあたる 57 億ドル。

(2 月 13 日付国営ベルタ通信)

●2018 年の石油精製:1,820 万トン

2 月 15 日、国営「石油化学コンツェルン(ベルネフ・チェヒム)」は 2018 年の総括を発表。石油精製は 1,820 万トン(前年比 0.4%増)、石油製品輸出額は 65 億ドル、国内での石油採掘量は 164 万トン(前年比 1.2%増)。

(2 月 15 日付国営ベルタ通信)

●2018 年の国営企業決算

2 月 15 日、国家統計委員会による発表。

・不採算企業数は 1,094 社で前年より 3 社減少するも、企業全体に占める比率は 15.2%で変わらず。

・純益は 51 億 5,950 万ルーブル(前年比▲38.9%)で、税引き前の利益は 75 億 5,950 万ルーブル(前年比▲30.6%)。

(2 月 15 日ペラパン通信)

●鉄道コンテナ取り扱い量が前年比 121%

2 月 15 日、ベラルーシ鉄道は 2018 年の鉄道コンテナ取り扱い量が、20 フィートコンテナで 63 万 5,400 本相当(前年比 21%増)となった旨発表。

同社によれば、コンテナ貨物の取り扱い量は全分野で前年より伸びており、トランジットが 27%、輸出が 4%、輸入が 9%、国内移送が 9%それぞれ増加。

(2 月 15 日付プライムプレス通信)

(了)